



「人間の知能から学ぶ次世代人工知能の研究動向」

人工知能 (AI) は、現在、第3次ブームとなっており、特に深層学習 (ディープラーニング) は色々な分野で顕著な成果をあげています。しかし、課題も見え始めており、今後の AI の進化を考えるためには、あらためて、人の脳内情報処理に学ぶことが提案されています。

今回の課題勉強会では、その際、どこに課題があるのかを明らかにして、今後の研究開発の方向を見付けるため、科学技術振興機構研究開発戦略センター フェローの福島俊一氏を講師にお迎えし、「人間の知能から学ぶ次世代人工知能の研究動向」として講演いただき討論することを企画しました。

オンライン開催ですので、多数のご参加をお待ちしています。

(企画：企画委員長 栗山敏秀)

講演テーマ：「人間の知能から学ぶ次世代人工知能の研究動向」

講師：科学技術振興機構研究開発戦略センター フェロー 福島俊一氏

講演要旨：

人工知能 (AI) の第3次ブームを深層学習が牽引している。深層学習の発展は著しく、分類、予測、異常検知、生成・変換等の様々な応用が広がり、いくつかの特定応用では人間を上回る精度も達成されている。

しかし、大量の教師データや計算リソースが必要で、学習範囲外の状況への対応や意味理解・説明等に弱いという限界も指摘されている。そこで、そのような限界を克服する次世代 AI 開発への挑戦が進みつつある。その際に、人間の知能から学ぶことが有効である。

本講演では、次世代 AI のヒントとなる人間の知能に関する研究分野として、計算脳科学や認知発達ロボティクスの知見を紹介する。さらに、それを踏まえた次世代 AI の研究動向も紹介する。

講師プロフィール： 福島俊一氏 (ふくしまとしかず)

1982年東京大学理学部物理学卒業、NEC入社。以来、中央研究所にて自然言語処理・サーチエンジン等の研究開発・事業化および人工知能・ビッグデータ研究開発戦略を担当。工学博士。
2005～2009年 NEC 中国研究院副院長。2011～2013年東京大学大学院情報理工学系研究科客員教授。2016年4月から科学技術振興機構研究開発戦略センター フェロー。1992年情報処理学会論文賞、1997年情報処理学会坂井記念特別賞、2003年オーム技術賞等を受賞。2021年情報処理学会フェロー

- 開催日：2021年11月30日(火) 10:00-12:00
- 場所：zoomによるオンライン開催
- 主催：一般社団法人次世代センサ協議会
- 参加費：次世代センサ協議会会員/無料、非会員/10,000円(消費税込み)
- 参加定員：50名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます。
- 参加申込方法：事前登録制となっておりますので、参加ご希望の方は下記リンク先よりお申込みください。
- 参加方法：参加者には、前日までに視聴用 URL と資料 URL をお知らせしますので、資料をダウンロードしてご参加ください。
- お問い合わせ先：一般社団法人次世代センサ協議会 事務局
Tel.03-6910-0889 Fax.03-6910-0899 E-mail: office@jisedaisensor.org

※プログラムはやむを得ず変更になる場合があります。

お申込みはこちらから